

民報あばしり

NO. 995

2014. 11. 16

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三三・四四五八
F 四三三・四四五七



「戦争する国」づくり許さない 「憲法の会」が連日の取組み

7月1日の「集団的自衛権の行使容認」の閣議決定を受け、今、全国七千五百を超える「9条の会」が「戦争をする国づくりは許さない」と、宣伝や署名行動に取り組んでいます。

網走でも、「平和憲法を守る網走の会」（以下「憲法の会」）が署名・街頭宣伝を続けています。11月に入ってから、7日は南高前でリーフ配布、8日は大曲公住での署名、9日は駒場の「コープさっぽろ」店舗前で署名、と連日の取組みを行っています。

7月1日以降11回目の宣伝・署名行動になります。12月10日には特定秘密保護法が施行される予定ですが、国民の知る権利という基本的人権・民主主義の根幹にかかわる問題です。

「憲法の会」は昨年の法案成立直後から「秘密保護法の撤廃」を求める署名を継続しています。

「平和憲法を守る網走の会」は、11月24日に「集団的自衛権閣議決定の撤回を求める網走集会」を開催します。

憲法の会代表世話人の斉藤道子さんは、「この間の取り組みを確認し、これからの運動の力、確信にできるような集会にします。赤旗読者の皆さんにも参加していただきたい」と話しています。

赤旗まつりに参加した読者から感想文が寄せられましたので、紹介いたします。

初めて赤旗まつりに参加 勇氣・確信・ 元気をもらう

人、人、人、駅から会場まで人の波、そして笑顔、会場で20年ぶりに友人にも合いました。定年になつたら赤旗まつりに行こうと妻と約束していた夢がかないました。

初日は雨でしたが、2日目は晴れわたり1日で8万人の入場者で驚きでした。志位委員長長の記念講演、野外ステージは人で埋まり、ステージに入れませんでしたが、しっかりと聞きました。「いっせい地方選挙、国政選挙で日本共産党の躍進を、日本の政治の希望ある未来を開こう」と訴え、大きな声援と拍手に包まれました。

歌手の八代亜紀さんも「すごい人」と、ビックリした様子、いやあ熱唱でした。3日目の不破哲三さんの「科学の目」講座も朝から長蛇の列、会場に入れず中庭で聞きました。確信がわくお話をしました。次回も参加したいです。皆さんも是非参加して感じて下さい。（駒場南8丁目のIさんより）

いよいよ東奔西走

介護保険が導入されてから15年目です。介護の社会化で社会保障の柱になると言われた姿は今はありません。もともと対象者の15%前後しかサービスをうけられない欠陥保険です。

その後、要介護認定介護サービスから要支援を削除し、介護報酬引き下げで多くの事業所を経営難に追い込み、若者たちが働きたくない代表的職場とも言われるようになりました。改悪につぐ改悪で今や「自助、共助」が優先し、「公助」はどこかに吹っ飛つとぶ介護崩壊そのものです。政治を変えて介護崩壊をくい止めようではありませんか。

菊地ひろし

風邪をひいて10日ほど休養した寝床で読んだ「赤旗」に、科学研究所長の『日本の戦争』を考える』と題して講演をした記事が報道されました。「侵略戦争に駆り出された、若き軍人の戦死者230万人のうち少なくとも半数以上が餓死者だった。軍首脳部が、満足な食料の補給を考えずに進行を繰り返したからです。」と話す不破さんの話に、父のことを思い愕然としました。終戦の前年2月に南西太平洋にいた父は、米軍の総攻撃を受けるとともに、カエルや蛇を食べられたから生き延びたのです。こんな戦争を「正義の戦争」と叫ぶ安倍政権の、一日も早い政権打倒が必要だと感じた毎日でした。

松浦有戦モロ

今年4月から消費税が8%に引き上げられ、今年度の増税による増収は5兆円と見込まれています。

政府は、その内わずか1割（5千億円）しか社会保障の充実に回していません。所得税収や法人税収などでまかなってきた既存の社会保障制度の財源を消費税増税分に置き換えただけのことです。

浮いた所得税収や法人税収などは他の予算にまわしています。安倍政権は、大企業減税を進め、不要不急の大型公共事業や軍事費に消費増税分が使われている、というのが真実です。

流水

堤未果氏の「貧国大國アメリカ」を読んだ。アメリカン・ドリームなどを元にして考えた大國アメリカとの感想とのあまりにも違いに驚かされる。▼低賃金労働に縛

りつけられ世界一・長時間労働に苦しむ日本に対し、失業率は多少高くても、社会全体の底時からはまだ大きなものがあると思つていた米國社会▼しかし、実態は医療費が世界一高く、一度病気になるとなちまち破産する。経費節減に日帰り出産をする妊婦、利益追求の株式会社化する病院、更に急増する医療過誤、貧困児童と肥満児の社会問題化など数え上げれば切りがない程で、どれも新自由主義経済のもたらした悲劇な結果に満ちあふれている▼且つてベトナム戦争が起きたとき、ニューヨークタイムズの記者デイビット・ハルバースタムは「戦争で最も犠牲になるのは真実だ」と言つたが、その後の流れを見る時、「最大の犠牲は「ジャーナリズム」それ自体であると書き直さねばならないだろう▼第二次レーガン政府以降のアメリカでは、三大テレビネットワークのNBC、CBS、ABCなどが一斉に大資本に買収され、その後もこの動きは止まらない。その頂点にいるのはFOXニュースのオーナー、マードック氏であり、彼は最近「ニュースは流すものではなく、作るものだ」と公言してはばからない有様でひんしゆくを買っている▼日本のマスコミの現状といい、米國中間選挙での共和党優勢といい、日本の将来を考える時、多くの問題がさげられない。（K）